

JC997 U.S. PTO
10/075183
02/14/02

日本特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2001年 2月 20日

出願番号
Application Number:

特願2001-044194

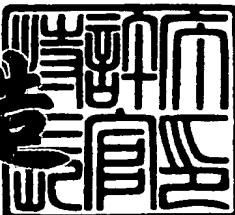
出願人
Applicant(s):

ソニー株式会社

2001年12月14日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3109241

【書類名】 特許願

【整理番号】 0100058601

【特記事項】 特許法第30条第1項の規定の適用を受けようとする特許出願

【提出日】 平成13年 2月20日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B65D 21/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 和仁 義明

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 広瀬 賢一

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】

【識別番号】 100080883

【弁理士】

【氏名又は名称】 松隈 秀盛

【電話番号】 03-3343-5821

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012645

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

特2001-044194

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707386

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電池収納ケース

【特許請求の範囲】

【請求項1】 脊体部と該脊体部の一端の開口部と上記脊体部の他端の底面部とを有する本体と、脊体部と該脊体部の一端の開口部と上記脊体部の他端の係合部とを有する蓋部と、を有する電池収納ケースにおいて、上記本体の脊体部の外面には突起列が設けられ、上記蓋部の脊体部の内面には上記本体の突起列に係合するように構成された突起列が設けられ、上記蓋部の係合部には貫通孔が設けられ、該貫通孔の少なくとも一方の開口部の周囲は凹部となっており、上記貫通孔の周囲の一部は円筒状に形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項2】 請求項1記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の脊体部及び上記蓋部の脊体部は、その断面形状において少なくとも一部は円弧状に形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項3】 請求項2記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の脊体部及び上記蓋部の脊体部は、その断面形状において円形状に形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項4】 請求項1又は2記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の底面部は外側に向けて膨らんだ形状をなしていることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項5】 請求項1又は2記載の電池収納ケースにおいて、上記蓋部の係合部には上記貫通孔と上記脊体部との間に空間部を有していることを特徴とする電池収納ケース。

【請求項6】 請求項1又は2記載の電池収納ケースにおいて、上記本体の底面部の近傍の脊体部の外面に上記蓋部の開口部と略同一の外径を有する突起部が形成されていることを特徴とする電池収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は電池を収納するための透明なプラスチック製の電池収納ケースに関する。

【0002】

【従来の技術】

文房具、工具、台所用品、電気製品、食品、雑貨等を収納し保護するために透明なプラスチック製の収納ケースが使用される。このような例として、例えば、実開昭61-99491号、実開昭62-105134号、特許第3015772号、特開平11-321865号、特開平11-321868号、米国特許第4509656号、米国特許第4046279号、米国特許第4210253号、米国特許第4596340号、米国特許第5680949号等に開示されたものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

透明なプラスチック製の収納ケースは、物品を収納するために使用されるが、商品を展示し陳列するためにも使用される。しかしながら、従来、商品を展示陳列するために使用し、更に、その商品を購買した消費者が物品を保護しつつ且つ携帯するのに十分な収納ケースはなかった。

【0004】

近年、携帯型の電気製品が広く使用されている。携帯型の電気製品を使用する場合、予備の電池を用意しておく必要がある。しかしながら、従来、予備の電池を収納するための収納ケースとして適當なものがなかった。例えば、商品を展示陳列するときに使用する収納ケースをそのまま携帯に使用する場合は、収納ケースに鋭い角部があったりして、バッグ等に入れて携帯する際に、ケースの角部が潰れて物品の取り出しに支障をきたしたり、収納ケースの角部が他の携帯物に当たって傷をつけたり、また収納ケースから物品を取り出した後は中身の無くなつた収納ケース自身が携帯の際邪魔な存在になつたりする。

【0005】

従つて、本発明は、電池を販売するときには、それを展示陳列するために使用可能であり、且つ、予備の電池を持ち運ぶときには、それを収納し且つ携帯し易い電池収納ケースを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明によると、胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の底面部とを有する本体と、胴体部と該胴体部の一端の開口部と上記胴体部の他端の係合部とを有する蓋部と、を有する電池収納ケースにおいて、上記本体の胴体部の外面には突起列が設けられ、上記蓋部の胴体部の内面には上記本体の突起列に係合するように構成された突起列が設けられ、上記蓋部の係合部には貫通孔が設けられ、該貫通孔の少なくとも一方の開口部の周囲は凹部となっており、上記貫通孔の周囲の一部は円筒状に形成されている。

【0007】

【発明の実施の形態】

図1を参照して本発明の第1の例を説明する。本例の電池収納ケースは透明のプラスチック製の本体10と蓋部50とを有する。本体10は、断面が眼鏡形の筒状の胴体20と上端の開口部22と下端の底面24とを有する容器の形状である。開口部22と底面24は胴体の断面と同様に眼鏡形である。胴体20は、平坦な前面14と2つの蒲鉾形の凸部12A、12Bを有する背面12と2つの側面16、18とを有する。

【0008】

蓋部50は、断面が眼鏡形の筒状の胴体60と上端の係合部70と下端の開口部62とを有する蓋の形状である。開口部62は胴体60の断面と同様に眼鏡形である。胴体60は、平坦な前面54と2つの蒲鉾形の凸部52A、52Bを有する背面52と2つの側面56、58とを有する。

【0009】

本体10の胴体20と蓋部50の胴体60は、共に、眼鏡形の断面を有するが、これは2列の電池を収納するためである。本体10の背面12の2つの蒲鉾形の凸部12A、12B及び蓋部50の背面52の2つの蒲鉾形の凸部52A、52Bは、電池の外形に対応している。

【0010】

本体10の胴体の側面16、18の外面には略全長に亘って軸線方向に沿って突起列16A、18A（図1では一方18Aのみ図示）が設けられている。突起の各々は側面16、18の外面上を円周方向又は横方向に延びており、等間隔に

並んで配置されている。蓋体50の胴体の側面56、58の内面には開口部の近傍の短い部分に、軸線方向に沿って突起列56A、58A（図1では一方58Aのみ図示）が設けられている。突起の各々は側面56、58の内面上を円周方向又は横方向に延びており、等間隔に並んで配置されている。

【0011】

本体10の胴体20の側面16、18の突起16A、18Aの先端の外径は、蓋体50の胴体60の側面56、58の内径より小さいが、その突起56A、58Aの先端の内径より大きい。従って、蓋体50を本体10に被せると、又は蓋体50に本体10を挿入するとき、本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aに衝突するが、本体10を更に蓋体50内に押し込むと、本体10の側面16、18は内方に弾性変形し、蓋部50の側面56、58は外方に弾性変形し、本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aを乗り越えて進む。

【0012】

蓋体50を本体10より外すとき、又は蓋体50より本体10を抜き出すとき、上述の動作と同様の動作がなされる。本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aに衝突するが、本体10を更に蓋体50より抜き出すと、本体10の側面16、18は内方に弾性変形し、蓋部50の側面56、58は外方に弾性変形し、本体10の側面16、18の突起16A、18Aは蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aを乗り越えて進む。

【0013】

本体10の側面16、18の突起16A、18Aと蓋部50の側面56、58の突起56A、58Aが互いに当接することによって、ユーザが蓋体50と本体10に力を加えない限り、両者が互いに他に対して移動することはない。即ち、これらの突起の係合によって、両者は自然に移動することが防止される。

【0014】

本体10を蓋部50に挿入し易くするために、本体10の開口部22の近傍2

2Aは、その胴体20の断面より僅かに小さくなっている。

【0015】

係合部70には、胴体60の背面52の側から前面54の側まで貫通する孔72が設けられている。係合部70の外形は全体的に滑らかな曲面をなしており、その断面の形状及び寸法は、胴体60の上端から係合部70の上端まで、連続的に変化している。即ち、係合部70には先端が尖った突起が無いように構成されている。

【0016】

図2を参照して説明する。図2は、4つの電池1、2、3、4（4つの電池のうち2つを図示）を収納した電池収納ケースが販売店の展示陳列用のフック5によって支持された状態を示す。電池収納ケースの蓋部50の係合部70の孔72にフック5が挿入されている。上述のように、本例の電池収納ケースには2列の電池を収納することができるが、各列には2個の電池を積み重ねた状態にて収納することができる。

【0017】

図2における電池1、2は突起1A、2Aを有する正極側が上側になるように配置されているが、正極側が下側になるように配置することもできる。図示のように、電池1、2の正極側の突起1A、2Aが上側になるように配置された場合には、上側の電池1の正極側の突起1Aは、蓋部50の上端の係合部70内の空間に配置される。本体10の底面24は図示のように僅かに湾曲しており、電池の正極側の突起を収容するために十分な凸部24Aを備えている。電池の正極側の突起が下側になるように配置された場合には、下側の電池の正極側の突起は、本体10の底面24の凸部24Aに収容される。

【0018】

図1の電池4本ケースの場合で電池2本を取り出した後、及び、図3の電池2本ケースで電池1本を取り出した後において、収納ケースを更に短く収縮して携帯サイズを小さくできる。

【0019】

孔72は背面52側の開口部と前面54側の開口部を有するが、両者の一方、

図示の例では、背面52側の開口部の周囲74は窪んでいる。従って、係合部70は、孔72の周囲にて、実質的に厚さtが薄くなり、孔72にフック5を挿入する動作がより容易となる。

【0020】

孔72の上端78は中空円筒状をなしており、その外形は筒状体の一部を形成している。従って、本例では、蓋部50の係合部70は鋭い突起が無い滑らかな外形をなしている。

【0021】

図3を参照して本発明の電池収納ケースの第2の例を説明する。本例の電池収納ケースは透明のプラスチック製の本体110と蓋部150とを有する。本体110は、断面が円形の筒状の胴体120と上端の開口部122と下端の底面124とを有する容器の形状である。開口部122と底面124は胴体120の断面と同様に円形である。

【0022】

蓋部150は、断面が円形の筒状の胴体160と上端の係合部170と下端の開口部162とを有する蓋の形状である。開口部162は胴体160の断面と同様に円形である。

【0023】

本体110の胴体120と蓋部150の胴体160は、共に、円形の断面を有するが、これは1列の電池を収納するためである。本体110の胴体及び蓋部150の胴体は電池の外形に対応している。

【0024】

本体110の胴体120の外面には両側に略全長に亘って軸線方向に沿って突起列126、128（図3では一方126のみ図示）が設けられている。突起の各々は胴体の外面上を円周方向又は横方向に延びており、等間隔に並んで配置されている。蓋部150の胴体160の内面には開口部の近傍の短い部分に、複数のリング状の突起列166（図3では一列166のみ図示）が設けられている。突起の各々は等間隔に並んで配置されている。

【0025】

本体110の胴体120の突起列126、128と蓋体150の胴体160の突起列166の動作及び機能は第1の例の場合と同様である。

【0026】

係合部170の外形は全体的に滑らかな曲面をなしており、その断面の形状及び寸法は、胴体から上端まで、連続的に変化している。即ち、係合部170には先端が尖った突起が無いように構成されている。係合部170には、胴体160の軸線に直交する方向に延びる貫通孔172が設けられている。孔172の2つの開口部の少なくとも一方の開口部の周囲174は窪んでいる。従って、図2を参照して説明したように、係合部170は、孔172の周囲にて、実質的に厚さtが薄くなり、孔172にフック5を挿入する動作がより容易となる。

【0027】

図4を参照して本発明の電池収納ケースの更に他の例を説明する。本例では、図1の例と比較して、本体10の胴体部20にストッパ28が設けられている点が異なる。ストッパ28以外の部分は図1の例と同様である。ストッパ28は蓋部50の胴体部60の断面の外径と略同一の外径を有する。従って、本体10を蓋部50に挿入すると、蓋部50の開口部62がストッパ28に当接する。

【0028】

以上本発明の例について説明したが、本発明は上述の例に限定されることなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲にて様々な他の例が可能であることは当業者にとって容易に理解されよう。

【0029】

【発明の効果】

本発明の電池収納ケースによると、電池の販売店では電池を展示陳列するためのケースとして機能し、ユーザは携帯電気製品のための予備電池を収納するためのケースとして使用することができる利点がある。

【0030】

本発明の電池収納ケースによると、鋭い突起が無く全体的に滑らかな曲面より構成されているので、予備用の電池を収納して持ち運ぶのに便利である利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の電池収納ケースの第1の例を説明するための説明図である。

【図2】

本発明の電池収納ケースの第1の例の使用例を説明するための説明図である。

【図3】

本発明の電池収納ケースの第2の例を説明するための説明図である。

【図4】

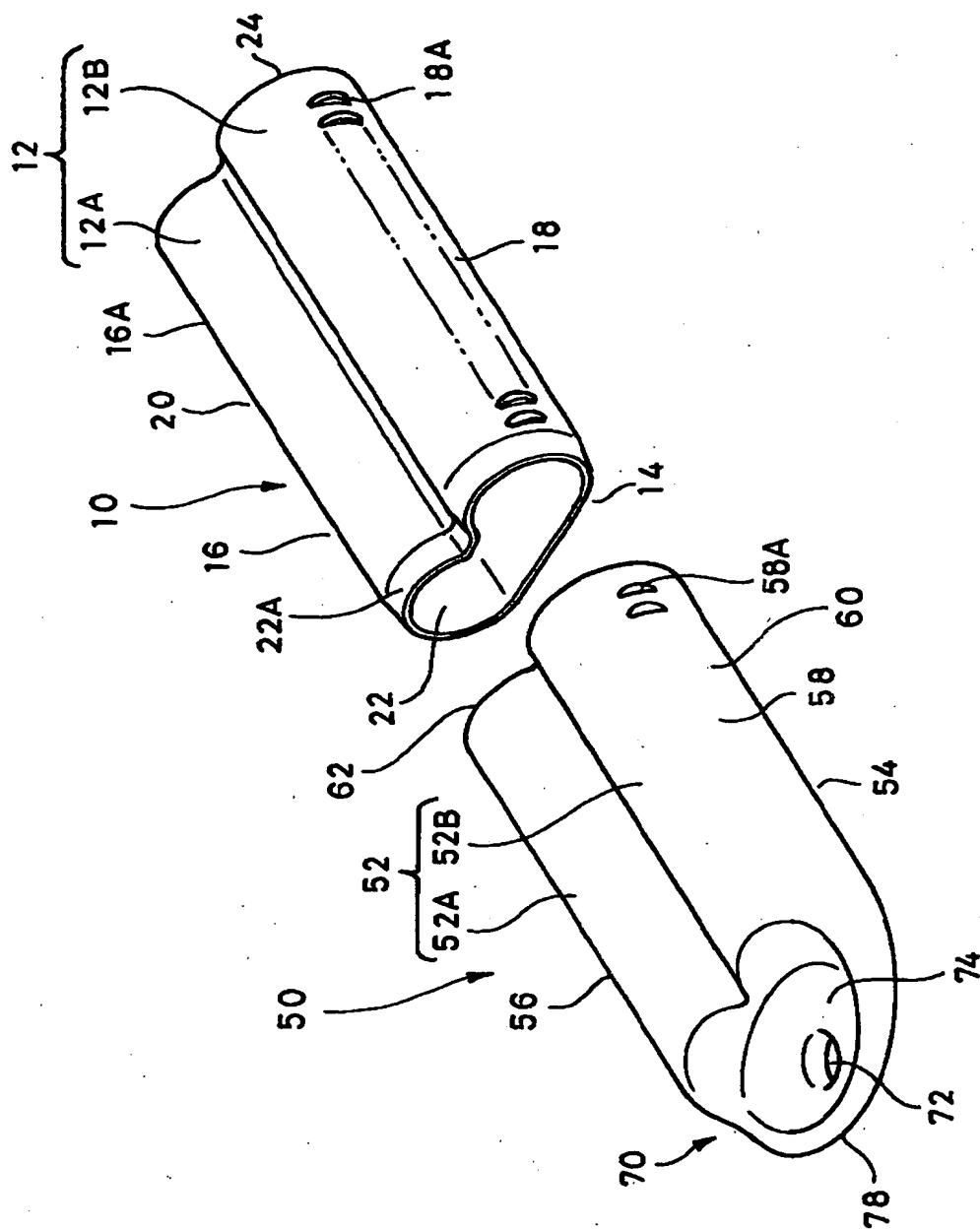
本発明の電池収納ケースの第3の例を説明するための説明図である。

【符号の説明】

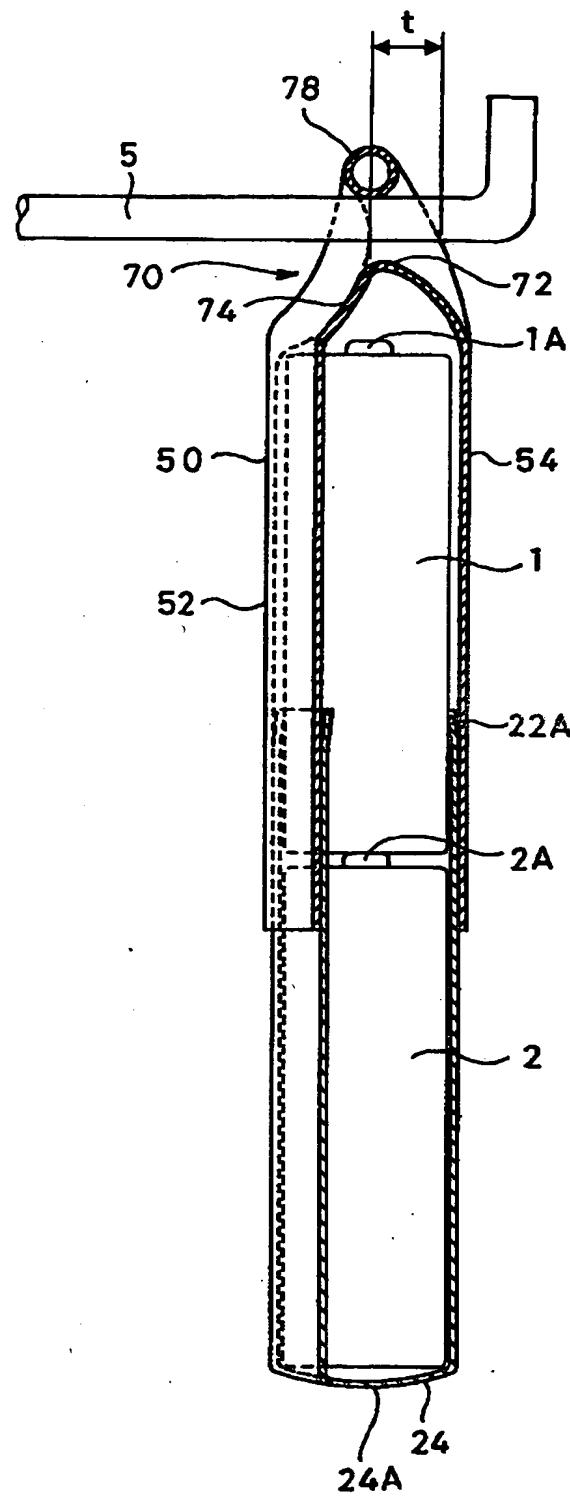
10… 本体、 12… 背面、 14… 前面、 16, 18… 側面、 16A, 18A… 突起列、 20… 脊体、 22… 開口部、 24… 底面
部、 50… 蓋部、 52… 背面、 54… 前面、 56, 58… 側面
、 56A, 58A… 突起列、 60… 脊体、 62… 開口部、 70…
・ 係合部、 72… 孔、 74… 凹部、 110… 本体、 120… 脊
体、 126, 128… 突起列、 122… 開口部、 124… 底面部、
150… 蓋部、 160… 脊体、 162… 開口部、 166… 突起列
、 170… 係合部、 172… 孔、 174… 凹部

【書類名】 図面

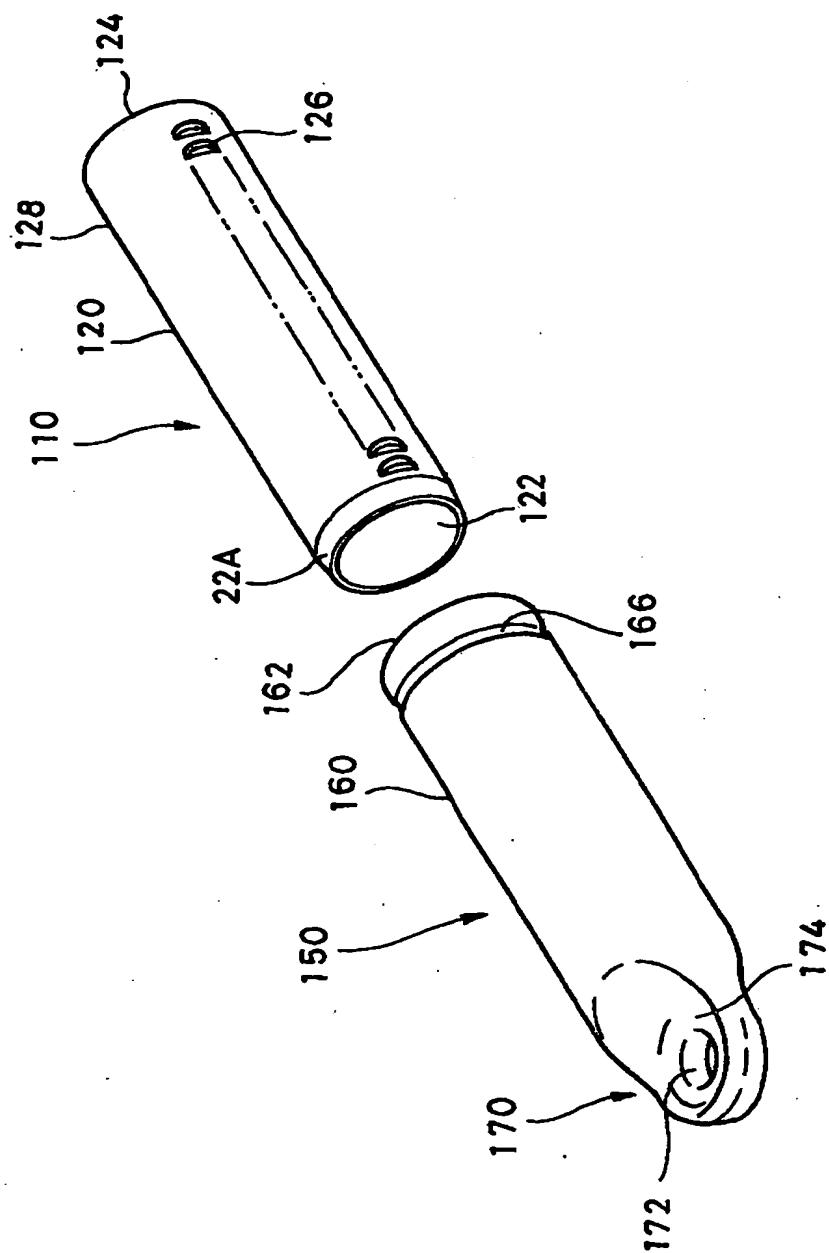
【図1】



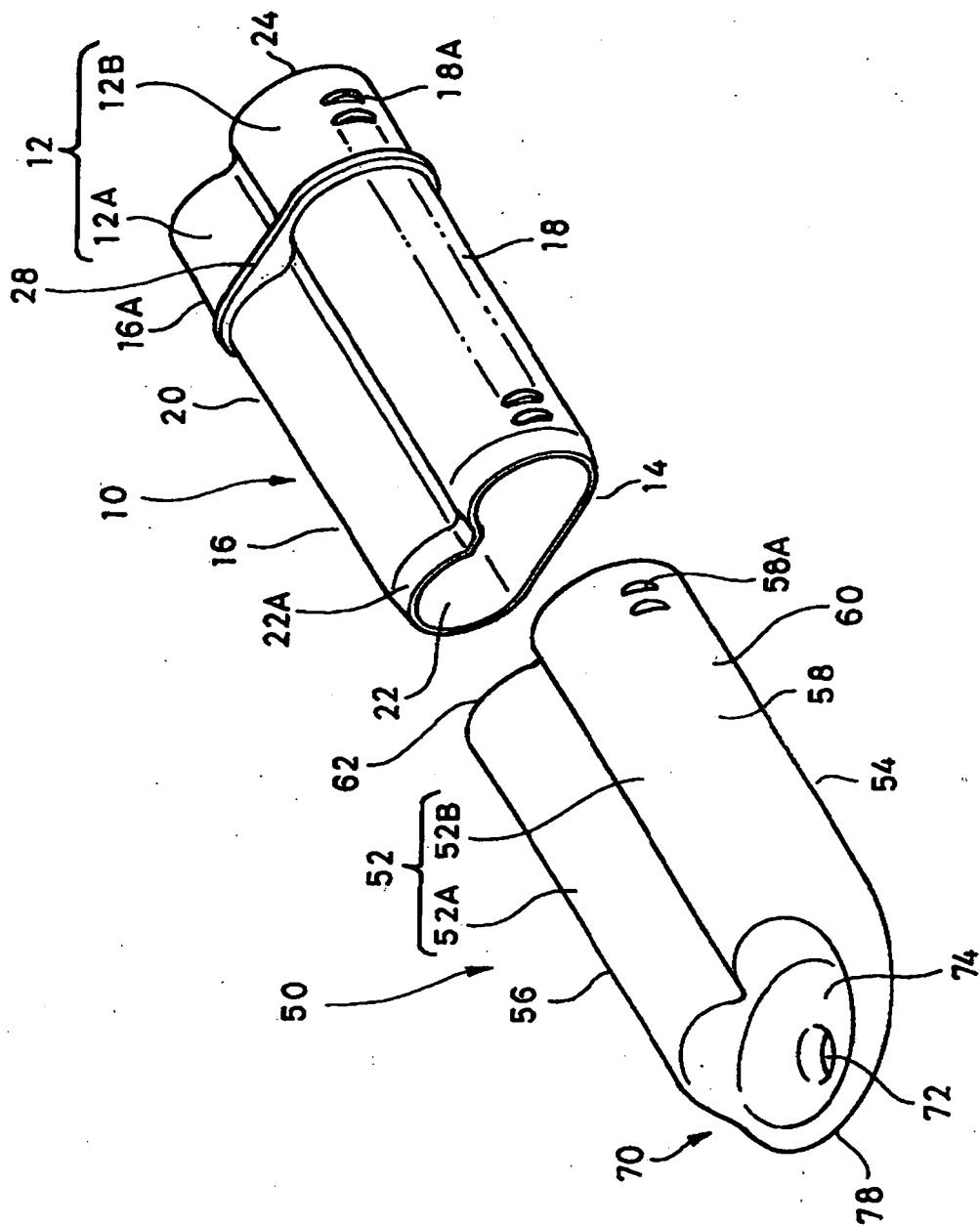
【図2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電池を収納するための電池収納ケースを提供することを目的とする。

【解決手段】 脊体部と該脊体部の一端の開口部と上記脊体部の他端の底面部とを有する本体と、脊体部と該脊体部の一端の開口部と上記脊体部の他端の係合部とを有する蓋部と、を有する電池収納ケースにおいて、上記本体の脊体部の外面には突起列が設けられ、上記蓋部の脊体部の内面には上記本体の突起列に係合するように構成された突起列が設けられ、上記蓋部の係合部には貫通孔が設けられ、該貫通孔の一方の開口部の周囲は凹部となっており、上記貫通孔の周囲の一部は円筒状に形成されている。

【選択図】 図1

【書類名】 新規性の喪失の例外証明書提出書
【提出日】 平成13年 3月22日
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】
【出願番号】 特願2001- 44194
【提出者】
【識別番号】 000002185
【氏名又は名称】 ソニー株式会社
【代理人】
【識別番号】 100080883
【弁理士】
【氏名又は名称】 松隈 秀盛
【電話番号】 03-3343-5821
【提出物件の目録】
【物件名】 発明の新規性の喪失の例外の規定の適用を受ける
ための証明書 1

【書類名】 新規性の喪失の例外証明書提出書
【提出日】 平成13年3月22日
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】
【出願番号】 特願2001-44194
【提出者】
【識別番号】 000002185
【氏名又は名称】 ソニー株式会社
【代理人】
【識別番号】 100080883
【弁理士】
【氏名又は名称】 松隈 秀盛
【電話番号】 03-3343-5821
【提出物件の目録】
【物件名】 発明の新規性の喪失の例外の規定の適用を受ける
ための証明書 1

認定・付加情報

特許出願の番号 特願 2001-044194
受付番号 20100550215
書類名 新規性の喪失の例外証明書提出書
担当官 小池 光憲 6999
作成日 平成13年 5月 2日

<認定情報・付加情報>

【提出者】

【識別番号】 000002185
【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号
【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】

【識別番号】 100080883
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿1-8-1 新宿ビル 松隈
【氏名又は名称】 特許事務所
松隈 秀盛

【提出された物件の記事】

新規性喪失の例外証明書 1

出願人履歴情報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社